

日本史 奈良・平安の政変・戦乱まとめ

| 年               | 事件名 | 内容・解説  |
|-----------------|-----|--|
| 729             | 1.  | [2. _____] 立后問題をめぐって藤原四子(不比等の四人の子供)と対立。藤原四子は謀反の疑いがあるとしての邸を囲み、妻の吉備内親王と共に自殺させた。  |
| 740             | 3.  | [4. _____] が政権を握り、[5. _____・ _____] が聖武天皇に信任されて活躍した時期の出来事。藤原氏が彼らの排除を求めて九州で大規模な反乱を起こしたが、鎮圧された。  |
| 757             | 6.  | [7. _____] の時代、藤原仲麻呂が光明皇太后と結んで勢力を伸ばすと、橘諸兄の息子が仲麻呂を倒そうとするが、逆に滅ぼされた。  |
| 764             | 8   | 孝謙太上天皇が自分の看病をしてくれた[9. _____] を寵愛し、仲麻呂が擁立した[10. _____] と対立。仲麻呂は危機感を募らせて挙兵するが先制され滅ぼされた。天皇は廃されて淡路に流され、孝謙太上天皇が重祚して[11. _____] となる。                       |
| 769             | 12  | 神託により道鏡を皇位につける事件。[13. _____] により妨害された。   |
| 780             | 14  | [15. _____] の 780 年、帰順した蝦夷の豪族が[16. _____] をおとしいて焼いた大規模反乱。のちの三十数年にわたって東北地方では戦争が相次ぐ。   |
| 785             | 17  | 桓武天皇の腹心で[18. _____] 造営を主導した藤原氏が暗殺される。皇太子早良親王を排除することが目的ともされる。   |
| 810             | 19. | 嵯峨天皇と太上天皇の権力争い。[20. _____] を設置した嵯峨天皇が迅速な行動を取り、仲成は射殺、太上天皇は出家、薬子は服毒。   |
| 842             | 21. | 藤原良房が一族の順子(ジュヅ)の息子である道康(ミヤス)親王を皇太子にするために行った陰謀。皇太子：恒貞(ツネサト)親王は廃され、支持者の[22. _____・ _____] は隠岐・伊豆に流された。密告者は在原業平の父：阿保(アホウ)親王。                            |
| 866             | 23  | 大納言[24. _____] が左大臣源信(ミナモトノマコト)の失脚を狙って応天門に放火したが発覚して伊豆に配流となった事件。紀夏井も縁座して土佐に流された。事件の処理にあたった良房は有能な他氏を排斥することに成功。良房が正式に摂政となる。                             |
| 887<br>～<br>888 | 25  | [26. _____] が即位にあたって出した勅書には基経を「阿衡」に任じるとしていたが、「阿衡は名ばかりで実職が伴っていない」として基経は政治をみなくなり、起草者：[27. _____] (チハナノヒロミ)を咎めた。論争に発展したが翌 888 年、天皇が勅書の非を認め、起草者を罰して収拾した。 |
| 901             | 28  | 左大臣：[29. _____] の陰謀。宇多天皇のもう一人の息子であった斉世(トキヨ)親王は右大臣[30. _____] の娘婿であった。時平は右大臣を失脚させるため、斉世親王が即位しようとしていると醍醐天皇に讒言し、大宰府に左遷させた。                              |

|                   |     |  |  |
|-------------------|-----|--|--|
| 935<br>～<br>941   | 31  | 32   | 関東地方での桓武平氏が反乱。一族の平国香を殺害し、新皇を称して関東諸国の大半を支配するも、<br>[33. _____]と[34. _____]が鎮圧。 |
|                   |     | 35   | 元伊予掾が瀬戸内海で反乱。東は淡路、西は大宰府を襲撃するが、[36. _____]、[37. _____]らにより鎮圧。                 |
| 969               | 38  | 藤原[39. _____]の時代。源高明を失脚させた事件。「源高明が娘婿である為平（タヒラ）親王を擁立して、皇太子；守平（ミツナ）親王(後の円融天皇)の廃立を図っている」と[40. _____]（ミツカ）が密告。事件後、 <b>藤原氏北家の勢力は不動のものとなり、その後は、ほとんどつねに、摂政・関白がおかれた。</b> |  |
| 1019              | 41  | 沿海州の女真人が九州北部に来襲するも、太宰権帥[42. _____]の指揮のもと九州の武士たちが撃退。 <b>九州に武士団が形成されつつあったことの証明。</b>  |  |
| 1028              | 43  | 上総介、武蔵国押領使となった平氏の反乱。1028年に反乱を起こして房総を占拠。[44. _____]が鎮圧して、源氏は東国進出。関東の平氏は衰退した。  |  |
| 1051<br>～<br>1062 | 45. | 陸奥で[46. _____]が反乱。陸奥守・鎮守府将軍[47. _____]が息子の源義家、清原武則の協力で平定。  |  |
| 1083<br>～<br>1087 | 48. | 清原氏の相続争いへ[49. _____]が介入。勝者となった[50. _____]が奥州藤原氏の栄華を築く。 <b>源氏は武家の棟梁として着目される</b> ようになる。  |  |